

児童館あり方検討報告書(中間のまとめ)のパブリックコメント

紫垣 伸也

P 2 7

1)「しかし、月曜日にも幼児クラブを開催してほしいという要望(幼児クラブ参加者に対するアンケートなど)や、」のみでは、要望がどれほどのものかわからないので説得力がない。幼児クラブ参加者に対するアンケート結果を公表し、どれほど月曜日に幼児クラブを開催してほしい声があるのか具体的に明らかにすべき。

P 2 7 ~ 2 8

2)「また、地域との連携事業や、平日利用の機会が少ない父親及び中学・高校生が参加・参画するプログラムについては、平日は参加しにくいことから、土曜日または日曜日において、例えば月1回、あるいは年数回程度のイベントとして実施していく運営方式が効率的であり現実的です。

これらを踏まえて、平成28年度からは月曜日から金曜日までを開館日としていきます。」

について、

(1)土曜日または日曜日の開館を毎週ではなく、例えば月1回、あるいは年数回程度という毎週よりはるかに少ない頻度にするのはなぜか理由を明確にするべき。

(2)なぜ毎週ではなく月1回、あるいは年数回程度のイベントとして実施していく運営方式が「効率的であり現実的」といえるのか、その理由を明確に説明するべき。

P 3 5 ~ 3 6

3)「『新たな児童館』は、地域の子育て力の向上や人とのつながりを大切にしたコミュニティの活性化を図るため、すでに基本的な地域活動の単位として機能しており区民にも定着している18地区を基本に配置することとします。」について、

(1)18地区にそれぞれ1館ずつ配置するという意味なのかどうか、明確にするべき。もしそうであれば、児童館は現在38館あるが、現在の児童館数(38)は新たな児童館の基本的な配置数(18)より20館も多いことになるが、現在の児童館がなぜ18館でなく38館配置しているのか、現在と新たな児童館の数の差についての理由を明確にするべき。

(2)「さらに8館を配置することとします。」について、結局板橋区の「新たな児童館」の数はいくつになるのか明確にするべき。その結果、現在の児童館の数(38)と異なる数となるならば、なぜ異なるのか、説明するべき。また、現在の児童館の数と新たな児童館の数が異なるならば、現在の児童館のうちどの児童館が廃止・存続され、板橋区のどこに「さらに8館」が配置されるのか明確にするべき。

以上

子ども政策課児童館適正配置担当係宛てにメールで送信
2015年1月19日